

子育て王国そっじゃ



インタビュー Interview

輝いている人

「総社の桃」を全国に知れ渡るブランドにしていきたい

岡山県内の農業の振興に貢献した青年農業者に贈られる第62回矢野賞を受賞したのが秋山陽太郎さん（門田）だ。

今回の受賞者は3人。総社市としては5人目で、4年ぶりの受賞者となる。

受賞の知らせを受けたときは、「名誉ある賞に驚きと嬉しさがこみ上げ、身が引き締まる思いがした」と秋山さん。歴代最年少の30歳で総社も生産組合の組合長に就任してからは、販売戦略や生産力の拡大に取り組んでいる。桃といえば総社が思い浮かぶ、ブランド力の向上を目指している。

高校を卒業後、農林水産省農業者大学校へ進学し、知識と経験を深めるなかで実践への気持が強くなった。いつも両親が楽しそうに桃栽培に携わっていたこともあり、帰郷して桃の生産に就いた。

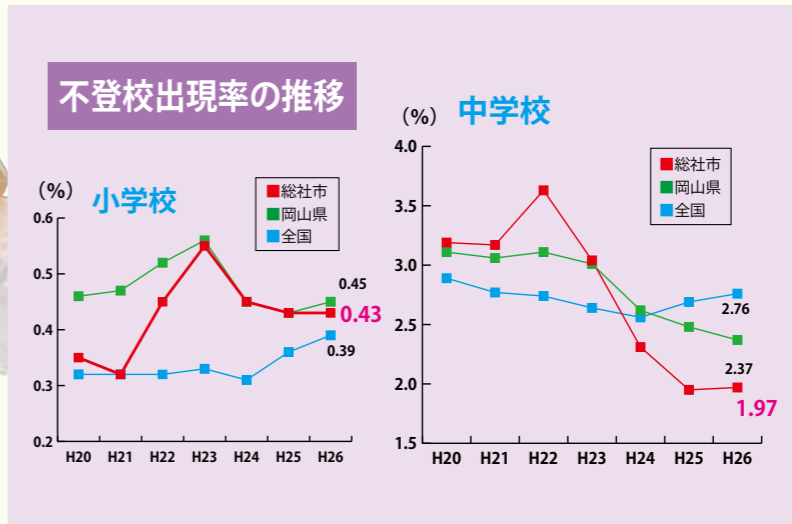
産に就いた。翌年には、農地30アールを借り入れて独立し、確かな手ごたえを感じた。2年目の桃も評価される出来だったが、自分が納得できる品質ではなく、そのもどかしさに悩み、研究を重ね、県全体の桃の品質向上することを決意した。

現在の経営耕地は140アール。地域や品種に合った、自然のもつ力を最大限に発揮させる改良を重ね、甘みを増す技術を確立。安定した出荷が出来るように、多品種を栽培し関東や海外など販路創出に取り組む。

将来、「農業をしたい」と言う声が増え、選択肢の上位に「農業」が挙がることを願い、後継者育成の十分な環境整備や農業経営の体制づくりに取り組んでいる。秋山さんの夢が大きくふくらんでいる。

秋山 陽太郎さん（門田）

優秀な農業後継者を表彰する矢野賞を受賞した



「だれもが行きたくなる学校づくり」の取り組み成果

市内の中学校で不登校出現率が減少傾向にあります。

ちょっとくらいしんどくても、仲間がいるからなんとか乗り越えることができる。今後も、学校が安心感のある居場所となるよう、子ども同士のつながりを大切に育てていきます。

問い合わせ 学校教育課 (☎) 8358

品格教育の12月重点テーマ『生命尊重』

「ありのままの自分を受け止めること」
 「自分自身の底力を知ること」
 「支え合い、生かし合う喜びを知ること」
 「生まれてきてよかった。」「自分が生きていくことに意味がある。」と感じるとき、人生が充実したものとなる。
 精一杯生きよう。そして、自分らしい生き方を輝かせていこう。



算数の授業（協同学習）で、複雑な形の面積の求め方を協力しながら考えている様子（秦小学校）

そうじゃ
大好きっ子
育てよう

学校給食 おすすめレシピ



- 材料（4人分）
- 牛ひき肉…120g ●厚揚げ…80g ●ちくわ…40g
 - ダイコン…160g ●サトイモ…120g ●ニンジン…60g
 - こんにゃく…80g
 - サラダ油…適量 ●だし汁…120cc
 - 調味料…赤味噌=28g、しょう油=大さじ1、砂糖=小さじ1、みりん=小さじ1

- 作り方
- ①厚揚げは一口大、ちくわはうす切りにする。
 - ②ダイコンとニンジンは、約1cm幅のいちょう切りにする。
 - ③サトイモは、大きいものは半分に切る。
 - ④こんにゃくは下ゆでしたものを、スプーンなどで一口大に切る。
 - ⑤鍋にサラダ油を入れ、牛ひき肉を入れて炒める。
 - ⑥肉の色がかわったら、だし汁と①～④を入れて煮る。
 - ⑦具に火が通ったら、調味料で味付けをし、味がしみ込むまで煮る。

その他の献立 麦ごはん、牛乳、小松菜のお浸し、ミックスナッツ